

どんなことがあってもエホバから離れないようにしましょう

「エホバ、あなたに頼ります」。[詩編 31:14](#) エホバ、あなたに頼ります。私は言います。「あなたは私の神です」

122 番の歌 揺らぐことなく勝利を得る

何を学ぶか*この終わりの時代にエホバに忠実に仕え続けるためには、エホバとエホバの組織を信頼し続ける必要があります。悪魔サタンは、いろいろな手を使ってこの信頼を壊そうとしてきます。この記事では、サタンが利用する3つの状況を取り上げ、サタンの攻撃に負けないためにどんなことができるかを考えます。

1. エホバが私たちと親しくなりたいと思っていることは、どんなことから分かりますか。

エホバは、ご自分と親しくなるようにと私たちに勧めています。（[ヤコ 4:8](#) 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください。）私たちの神、私たちのお父さん、私たちの友達になりたいと思っています。私たちの祈りに答え、大変な時には助けてくれます。そして、組織を用いて私たちを教え、保護してくださいます。では、エホバと親しくなるために、私たちは何をする必要があるでしょうか。

2. どうすればエホバと親しくなることができますか。

2 エホバと親しくなるためには、エホバに祈り、聖書を読んでじっくり考えることが大切です。そうするなら、エホバへの愛と感謝の気持ちが深まります。また、エホバに従いたい、エホバに賛美を捧げたい、と思うようになります。エホバは私たちの賛美を受けるのに本当にふさわしい方です。（[啓 4:11](#) 私たちの神エホバ(*), あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたのご意志によって存在するようになり、創造されました）エホバについて知れば知るほど、エホバと組織をもっと信頼できるようになります。エホバはこの組織を用いて私たちを助けてくれています。

3. サタンは私たちをエホバから引き離すためにどんな手を使ってきますか。 エホバや組織から離れてしまわないとどんなことができますか。（[詩編 31:13, 14](#)）

3 でも、サタンは私たちをエホバから引き離そうとします。私たちが問題にぶつかる時には特にそうです。サタンはどんな手を使ってくるのでしょうか。エホバや組織に対する信頼を少しずつ弱めようとします。でも、私たちはサタンの攻撃に立ち向かうことができます。エホバへの強い信仰があって、エホバを心から信頼しているなら、エホバや組織から離れてしまうことはないでしょう。（[詩編 31:13, 14](#) 私は悪いことをたくさん言われ、恐怖に取り囲まれた。彼らは団結して詰め寄り、私の命を取り去ろうとたくらむ。 14 エホバ、あなたに頼ります。私は言います。「あなたは私の神です」を読む。）

4. この記事ではどんなことを考えますか。

4 この記事では、会衆の外から来る3つの問題について取り上げます。そうした問題によって、エホバや組織への私たちの信頼が弱まる危険があります。では、①私たちはどのようにエホバから離れてしまうことがあるのでしょうか。②サタンの攻撃に負けないためにどんなことができますか。

つらい経験をする時

5. つらい経験をすると、エホバや組織への信頼がどのように弱まるかもしれませんか。

5 私たちは時に、家族からの反対や仕事を失うといったつらい経験をすることがあります。そうしたことが原因で、組織への信頼が弱くなったり、エホバから離れてしまう危険があります。どのようにでしょうか。つらい状況が長く続くと、希望を見失い、ひどくがっかりすることができます。サタンはそこに付け込んで、私たちに、「自分はエホバに愛されていないんじゃないか。自分がつらい目に遭っているのはエホバや組織のせいだ」と思わせようとします。エジプトにいたイスラエル人の中にも、同じように考えた人がいました。彼らは初め、モーセとアロンがイスラエル人を自由にする務めをエホバから委ねられているということを認めています。(出4:29-31)その後モーセとアロンは行ってイスラエル人の長老を全員集めた。30アロンはエホバがモーセに告げた全ての言葉を話し、モーセは民の前で奇跡(d*しるし)を行った。31それで民は信じた。そして、エホバがイスラエル人に注意を向け、苦悩を見たことを聞くと、身をかがめてひれ伏した)でも、後に、ファラオからつらい目に遭われるようになると、モーセとアロンを責めてこう言いました。「あなた方のせいで、私たちはファラオと家来たちにひどく嫌われ、剣で殺されそうになっているのです」。(出5:19-21)イスラエル人の現場責任者たちは、ひどく苦しい状況にいることを悟った。「毎日の決められたれんがの量を減らしてはならない」と命じられたからである。20その後で彼らはモーセとアロンに会った。2人は、ファラオの所から出てくる彼らに会おうと立っていた。21すぐに彼らは言った。「エホバがあなた方を見て処罰されますように。あなた方のせいで、私たちはファラオと家来たちにひどく嫌われ(*にとって悪臭を放つ者になり)、剣で殺されそうになっているのです」)残念なことに、彼らは自分たちのつらい状況を、エホバに忠実に仕えているモーセとアロンのせいにしました。では私たちは、つらい状況が長く続く場合、エホバや組織を心から信頼し続けるためにどんなことができるでしょうか。

6. つらい状況に立ち向かう上で、ハバククからどんなことを学べますか。(ハバクク 3:17-19)

6 自分の気持ちを祈りでエホバに打ち明け、支えを求めてエホバに頼る。預言者ハバククは、つらいことをたくさん経験しました。ある時には、エホバは自分のことを気に掛けてくれていないと感じたこともあったようです。それで、自分の気持ちをエホバに打ち明けて、こう祈りました。「エホバ、私はいつまで助けを求めて叫ばなければならないのですか。あなたは聞いてくださいらないのですか。……圧制を見過ごしておられるのはどうしてですか」。(ハバ 1:2, 3)エホバ、私はいつまで暴力からの救出を願わなければならないのですか。あなたは聞いてくださらないのですか。私はいつまで暴力を見させるのはどうしてですか。圧制を見過ごしておられるのはどうしてですか。私の前に破壊や暴力があるのはな

ぜですか。 口論や争いがあまりにも多いのはなぜですか) エホバは、 忠実なハバククの心からの祈りに答えました。 (ハバ 2:2, 3 するとエホバは私に答えた。 「この幻について書き、 板にはっきり記し、 朗読する人が読みやすい(*すらすらと読める)ようにせよ。 3 この幻は定められた時のためのもので、 終わり(*実現)に向かって急いでおり、 偽りではない。 たとえ遅れるとしても(*遅れているように思えても), 待ち続けよ(*心から待ち望め)。 必ずその通りになるからである。 遅くなることはない!) ハバククは、 エホバがこれまでご自分の民をどのように救ってきたかについてじっくり考えて、 喜びを取り戻すことができました。 そして、 エホバが気に掛けてくださり、 問題に立ち向かえるよう助けてくださる、 と確信することができました。 (ハバクク 3:17-19 イチジクの木に花が付かず、 ブドウの木に実がならなくても、 オリーブが不作に終わり、 畑(*段丘)が食物を生み出さなくても、 囲いから羊が消え、 小屋から牛がいなくなっても, 18 私はエホバのことで歓喜します。 私の救いの神のことで喜びにあふれます。 19 主権者である主エホバは私の力。 私の足を鹿の足のようにし、 高い場所を歩かせてくださいますを読む。) ここからどんなことを学べますか。 つらいことを経験する時には、 自分の気持ちを祈りでエホバに打ち明け、 支えを求めてエホバに頼りましょう。 そうすれば、 エホバは力を与えて問題に立ち向かえるように助けてくださいます。 そして、 エホバの支えを実感するなら、 エホバへの信仰はいっそう強くなるでしょう。

7. シャーリー姉妹の家族が姉妹にひどいことを言ったのはなぜですか。 姉妹がエホバへの信仰を持続する上で、 どんなことが助けとなりましたか。

7 信仰を強めるための日課を守る。 パプアニューギニアのシャーリー姉妹は、 つらい状況にあつた時、 まさにそうすることが助けになりました。 *一部の名前は変えてあります。 姉妹の家族は貧しく、 食べ物を手に入れるのに苦労することもありました。 家族の1人は、 エホバに対する姉妹の信頼を弱めようとしてこんなことを言ってきました。 「神の聖なる力が助けてくれるっていつも言っているけど、 全然助けてもらえてないじゃないか。 家族も貧しいままだし。 伝道なんかやったって、 時間の無駄だ」。 その時のことについて、 姉妹はこう言います。 「エホバは本当に気に掛けているんだって、 という気持ちになりました。 それで、 すぐに自分の気持ちを全てエホバに打ち明けました。 そして、 いつも通り、 聖書や出版物を読み、 集会や伝道に参加するようにしました」。 すぐに姉妹は、 エホバが自分たち家族を世話してくれている、 ということを実感できるようになりました。 食べ物が全くないということはありませんでしたし、 家族は幸せでした。 姉妹は、「エホバが私の祈りに答えてくださったんだと思いました」と言っています。 (テモ一 6:6-8 もちろん、 持っている物で満足しつつ神への専心を示すことには、 大きな利益があります。 7 私たちは何も持たずに世に生まれ、 何も持たずに世を去ります。 8 ですから、 食物(*命を支える物)と衣服(*if 住まい/d 覆い)があれば、 それで満足します) 私たちも、 信仰を強めるための日課をきちんと守るなら、 つらい状況や疑いのせいでエホバから離れてしまうことはないでしょう。

責任を委ねられている兄弟たちが不当な扱いを受ける時

8. エホバの組織で責任を委ねられている兄弟たちにどんなことが起きる場合がありますか。

8 エホバの証人に敵対する人たちは、 メディアやインターネットを使って、 エホバの組織の中で責任を委ねられている兄弟たちについてのうそを広めます。 (詩 31:13 私は悪いことをたくさん言われ、 恐怖に取り囲まれた。 彼らは団結して詰め寄り、 私の命を取り去ろうとたくらむ) 兄弟たちの中には、 被捕

され、告発される人もいます。1世紀に、無実のパウロが告発され、逮捕された時、当時のクリスチャンも似たような状況を経験しました。彼らはどうしたでしょうか。

9. パウロが捕らわれていた時、一部のクリスチャンはどうしましたか。

9 パウロがローマで捕らわれていた時、一部のクリスチャンは、パウロを支えるのをやめてしまいました。（テモニ1:8 ですから、私たちの主について語る(*証言する)ことも、主のために捕らわれている私たのも、恥じてはなりません。あなたも神の力に頼り、良い知らせのために苦しみに耐えなさい、15 あなたも知っているように、アジア州の人たちは私から離れていました。その中にフグロとヘルモゲネがいます）なぜでしょうか。パウロが人々から犯罪者と見なされていたために、パウロの仲間だと思われるのが嫌だったのでしょうか。（テモニ2:8, 9 イエス・キリストが生き返らされたことと、ダビデの子孫であることを思い起こしなさい。私はそのことを良い知らせとして伝えました。9 その良い知らせのために私は苦しみに遭い、犯罪者として拘禁されています。とはいって、神の言葉は縛られていません）あるいは、自分もパウロと同じように迫害されるかもしれないと考えて怖くなつたのでしょうか。理由がどんなものであったとしても、この時パウロはひどくがっかりしたに違いありません。パウロは彼らのために大変な状況を幾つも経験し、命さえ危険にさらしました。それなのに、パウロが助けを必要としている時に、彼らはパウロを見捨てて離れていました。（使徒20:18-21 長老たちが来ると、パウロはこう言った。「アジア州に足を踏み入れた最初の日から私が皆さんの間でどう行動したか、皆さんはよく知っています。19 涙を流し、ユダヤ人たちの陰謀による試練に遭いながら、ただただ謙遜に主のために一生懸命働きました。20 ためらうことなく、有益な(*ためになる)ことを何でも皆さんに話し、人々の前で、また家から家へと、皆さんを教えました。21 神に対する悔い改めと私たちの主イエスへの信仰について、ユダヤ人にもギリシャ人にも徹底的に知らせました。コリニ1:8 兄弟たち、アジア州で私たちが経験した苦難について知ってほしいと思います。私たちは、どうすることもできないほどのひどい圧迫を受け、命さえ危うい状況でした）私たちは、決してこの人たちのようにはなりたくありません。では、責任を委ねられている兄弟たちが迫害を受ける時、どんなことを覚えておくべきでしょうか。

10. 責任を委ねられている兄弟たちが迫害される時、①どんなことを覚えておくべきですか。②なぜですか。

10 なぜ迫害を受けるのか、誰が迫害を引き起こしているのかを覚えておく。テモテ第二3章12節には、「神への専心を貫き、キリスト・イエスに従って生きようとする人は皆、同じように迫害を受けます」とあります。ですから、①責任を委ねられている兄弟たちをサタンが特に攻撃するとしても、驚くことではありません。②サタンの狙いは、それらの兄弟たちにエホバへの信仰を捨てさせることと、私たちを恐れさせることです。（ペテー5:8 頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、誰かをむさぼり食おうとして(*むさぼり食おうと探して)います）



オネシフォロは勇気を示し、拘禁されていたパウロを支えた。現代でも、兄弟姉妹は投獄されている仲間を支えている。

(写真は再現。) (11-12 節を参照。)

11. オネシフォロの例からどんなことを学べますか。 (テモテ第二 1:16-18)

11 **兄弟たちから離れることなく支え続ける。** (テモテ第二 1:16-18) 主がオネシフォロの家の人たちに憐れみを示してくださいますように。オネシフォロは何度も私の気持ちを爽やかにしてくれて、私が拘禁されていることを恥じたりはしませんでした。17 それどころか、彼がローマにいた時には、私を懸命に捜して見つけてくれました。18 主により、彼が定めの日にエホバ(*)からの憐れみを受けますように。彼がエフェソスで行った奉仕については、あなたがよく知っている通りですを読む。) 1世紀のクリスチヤンのオネシフォロは、捕らわれたパウロを見捨てることはしませんでした。「[パウロ]が拘禁されていることを恥じたりはしませんでした」。それどころか、パウロを一生懸命探し、見つけた時にはパウロを助けるためでできる限りのことをしました。そのようにして、命を危険にさらしてまで、パウロを支えたのです。どんなことを学べるでしょうか。私たちは人への恐れに負ることなく、迫害されている兄弟たちを支える必要がある、ということです。こうした兄弟たちを助けるために、できる限りのことを行いましょう。 (格 17:17 真の友はどんな時にも愛を示す。苦難の時に頼れる兄弟) 兄弟たちは私たちの愛と支えを必要としているのです。

12. ロシアの兄弟姉妹からどんなことを学べますか。

12 ロシアの兄弟姉妹は、投獄されている仲間を助けるためにどんなことをしているでしょうか。誰かが裁判にかけられる時には、大勢の兄弟姉妹が応援するために裁判所まで駆け付けています。どんなことを学べますか。責任を委ねられている兄弟たちがひどいことを言われたり、逮捕されたり、迫害されたりするとしても、恐れてはいけません。こうした兄弟たちのためにエホバに祈り、その家族を世話し、できる限りのことをして助けるようにしましょう。 (使徒 12:5 ペテロは牢屋に入れられていたが、会衆はペテロのために熱烈に神に祈っていた。コリ二 1:10, 11) 神は差し迫った死の危険から確かに救ってくださったのであり、これからも救ってくださいます。私たちには、神が今後も救ってくださるという希望があります。11 皆さんも、私たちのために祈願をすることによって、私たちを助けてください。多く

の人の祈りのおかげで私たちは神から恵みを受けることができ、私たちのことで多くの人が感謝の祈りを捧げるでしょう)

悪く言われる時

13. 誰かから悪く言わると、エホバや組織への信頼がどのように弱くなるかもしれませんか。

13 エホバの証人ではない親戚や同僚や学校の友達は、私たちが伝道を行うことやエホバの高い道德基準に従って生きていることを悪く言うかもしれません。（[ペテー 4:4](#) [堕落した放蕩の道を皆さんがあなたと一緒に走り続けることはありません。それで人々は戸惑い、皆さんのこと悪く言います](#)）中には、「あなたの方が嫌いなわけじゃないけど、あなたの宗教はちょっと古臭くて厳し過ぎるんじゃない？」と言う人もいるでしょう。また、[排斥された人たちに対する私たちの接し方について、「そんなんに愛があるって言えるの？」](#)と言う人もいるかもしれません。こうした言葉を聞くと、疑いの気持ちが湧き上がってきて、「エホバも組織も厳し過ぎるんじゃない？」と思うようになるかもしれません。そうした時、[エホバや組織から離れないために、どんなことができるでしょうか。](#)



偽の友たちはヨブのことを悪く言い、いろいろなうそをついたが、ヨブはそれを信じるのではなく、エホバへの忠誠を貫いた。

（14節を参照。）

14. エホバの基準に従って生きていることを悪く言われる時、どうするべきですか。（[詩編 119:50-52](#)）

14 [エホバの基準にしっかりと従う。](#) ヨブは、周りの人から悪く言われても、[エホバの基準にしっかりと従いました。](#) 偽の友の1人はヨブに向かって、[ヨブが神の基準を守っても守らなくても、神にとってそれは大したことではない](#)、とまで言いました。（[ヨブ 4:17, 18](#)『死にゆく人間は神よりも正しいのか。人は人を造った方よりも清いのか』。18 [何と、神はご自分に仕える人のことを信じていない。ご自分の天使\(*使者\)をとがめる](#)：[22:3](#) [全能者はあなたが正しい人であることを気に掛ける\(*喜ぶ\)だろうか。あなたが忠誠を尽くしたとして、神に何の得があるだろう](#)）でもヨブは、[その言葉を信じませんでした。](#) [エホバの善惡の基準が正しいものだ](#)ということがよく分かっていたので、[その基準にしっかりと従い、エホバへの忠誠を貫きました。](#)（[ヨブ 27:5, 6](#) [あなた方を正しいと認めるなど私には考えられない！私は死ぬまで忠誠を貫く\(*忠誠心を捨てない\)！6 私は正しさを保って決して手放さない。](#) 生きている限り(*私のどの日についても)

，心にやましさを感じない(*私の心が私を有罪とする（あざける）ことはない) どんなことを学べるでしょうか。周りから悪く言われるとしても、エホバの基準を疑ってはいけないということです。私たちはエホバの基準が正しいもので、自分のためになるということを、これまで何度も実感してきたのではないでしょうか。ですから、エホバの基準に従っている組織から決して離れないようにしましょう。そうすれば、周りからどれほど悪く言われるとしても、エホバから離れてしまうことはありません。 (詩編 119:50-52 こうして、苦しんでいる私は慰められる。あなたの言葉のおかげで生き続けている。 51 思い上がった人たちが私をひどく軽蔑する。しかし、私はあなたの律法からそれない。 52 エホバ、あなたがこれまでに下してきた裁きを私は思い出す。そして慰められるを読む。)

15. ブリジット姉妹が親族から悪く言われたのはなぜですか。

15 インドのブリジット姉妹の例を考えてみましょう。姉妹は、エホバに仕えていることを親族から悪く言わっていました。1997年にバプテスマを受けた直後、エホバの証人ではない夫が失業しました。それで夫は、姉妹と娘たちを連れて、別の町に住む両親と同居することにしました。でも姉妹は、さらに難しい問題を幾つも経験しました。夫が失業していたため、姉妹が家族を支えるために全時間働く必要がありました。しかも、会衆は一番近いところでも 350キロも離れていました。そして、夫の家族は姉妹がエホバに仕えることに反対していました。反対がとても厳しくなったため、姉妹たち家族は再び引っ越さなければならなくなりました。そこへ、夫が急死し、娘の1人も12歳の若さで、がんで亡くなりました。それだけでもつらいことなのに、姉妹の親族は、こうした大変なことが起きたのは全部、姉妹がエホバの証人になったせいだ、と言って姉妹を責めました。それでも姉妹は、エホバを信頼し続け、組織から決して離れませんでした。

16. ブリジット姉妹は、エホバと組織から決して離れなかったので、どんな喜びを経験しましたか。

16 ブリジット姉妹は、会衆からかなり離れた所に住んでいたので、巡回監督は姉妹に、自分が住んでいる地域で伝道することと、自分の家で集会を開くことを勧めました。初め姉妹は、そんなことはとてもできない、と感じましたが、巡回監督の勧めの通りにすることにしました。良い知らせを伝え、家で集会を開き、家族の崇拝で娘たちを教えました。どんな結果になったでしょうか。姉妹は非常に多くの聖書レッスンを行うことができ、大勢をバプテスマまで導きました。2005年には正規開拓者になりました。姉妹は、エホバを信頼し、組織から決して離れなかったので、本当に大きな喜びを味わってきました。娘たちはエホバに忠実に仕えていますし、姉妹が伝道した地域には、今では2つの会衆があります。姉妹は、エホバが力を与えてくださったからこそ、いろいろな問題を乗り越え、親族から悪く言われても頑張ることができた、と感じています

エホバと組織を心から信頼する

17. サタンが攻撃してくるとしても、私たちはどんなことをしたいと思っていますか。

17 サタンはどんなことを願っているのでしょうか。①私たちに、「エホバはつらい時に助けてくれない」とか「エホバの組織の中にいても、生活が大変になるだけだ」と思わせることです。また、②責任を委ねられている兄弟たちがひどいことを言われたり迫害されたり投獄されたりする

時に、私たちが恐れを感じることです。そして、③私たちが誰かから悪く言われた時に、エホバの基準や組織への信頼を弱めてしまうことも願っています。とはいえ、私たちはサタンのこうした手口をよく知っているので、だまされることはありません。（[コリニ 2:11](#) 私たちがサタンに付け込まれない(*だまされない)ようにするためです。私たちはサタンの手口(*策略/意図)を知らないわけではありません）では、これからもサタンのうそに耳を傾けるのではなく、エホバと組織を心から信頼するようにしましょう。エホバが私たちを見捨てることは絶対にありません。（[詩 28:7](#) エホバは私の力、私の盾。私の心は神に頼る。私は助けられ、心は喜ぶ。歌で神を賛美する）ですから、どんなことがあってもエホバから離れないようにしましょう。（[ロマ 8:35-39](#) 誰がキリストの愛から私たちを引き離せるでしょうか。災難、苦難、迫害、飢え、裸、危険、剣であれば引き離せるでしょうか。36 確かに、「私たちはあなたのために一日中死にさらされている。ほふられる(*殺される)羊のように見なされた」と書かれています。37 しかし、私たちは、愛してくださった方により、これらのことがある中で完全な勝利を収めています。38 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、39 高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできません）

18. 次の記事ではどんなことを考えますか。

18 この記事では、会衆の外から来るさまざまな問題について考えました。とはいえ、エホバや組織への信頼は、会衆の中でも試される場合があります。そうした状況を乗り越えるためにどんなことができるでしょうか。次の記事ではこの点について考えます。

エホバと組織から離れないためにどんなことができますか

1. つらい経験をする時

・S06 **自分の気持ちを祈りでエホバに打ち明け、支えを求めてエホバに頼る**：ハバククは、つらいことをたくさん経験し、ある時には、エホバは自分のことを気に掛けてくれていないと感じたこともあり、「エホバ、私はいつまで助けを求めて叫ばなければならないのですか。あなたは聞いてくださらないのですか。」と祈った。エホバは、忠実なハバククの心からの祈りに答え、ハバククが、エホバがこれまでご自分の民をどのように救ってきたかについてじっくり考えて、喜びを取り戻すことができるようになした。そして、エホバが気に掛けてくださり、問題に立ち向かえるよう助けてくださる、と確信できた。つらいことを経験する時には、自分の気持ちを祈りでエホバに打ち明け、支えを求めてエホバに頼るなら、エホバは力を与えて問題に立ち向かえるよう助けてくださる

・S07 **信仰を強めるための日課を守る**：ある姉妹は家族から反対が有ってもいつも通り、聖書や出版物を読み、集会や伝道に参加するようにしたとき、エホバが自分たち家族を世話してくれて幸せだと実感できた。エホバが祈りに答えてくださったんだと思った。私たちも信仰を強めるための日課をきちんと守るなら、つらい状況や疑いのせいでエホバから離れてしまうことはない

2. 責任を委ねられている兄弟たちが不当な扱いを受ける時

- ・S10 なぜ迫害を受けるのか、誰が迫害を引き起こしているのかを覚えておく：サタンの狙いは、それらの兄弟たちにエホバへの信仰を捨てさせることと、私たちを恐れさせること
- ・S11 兄弟たちから離れることなく支え続ける：オネシフォロがパウロを支え続けたように、私たちも人への恐れに負うことなく、迫害されている兄弟たちを支える必要がある。兄弟たちは私たちの愛と支えを必要としている。
- ・S12 ロシアの兄弟姉妹に傲い、投獄されたり迫害されている仲間のためにエホバに祈り、その家族を世話し、できる限りのことをして助ける

3. 悪く言われる時

- ・S14 エホバの基準にしっかり従う：ヨブは、周りの人から悪く言われても、その言葉を信じなかった。エホバの善惡の基準が正しいものだということがよく分かっていたので、その基準にしっかり従い、エホバへの忠誠を貫いた。私たちもエホバの基準が正しいもので、自分のためになるということを、何度も実感してきた。周りから悪く言われるとしても、エホバの基準を決して疑わず、エホバの基準に従っている組織とエホバから決して離れない
- ・S17 サタンのうそに耳を傾けるのではなく、エホバと組織を心から信頼するようにするなら、エホバが私たちを見捨てることは絶対にないことを忘れない

118 番の歌 「さらに信仰を与えてください」

△ この終わりの時代にエホバに忠実に仕え続けるためには、エホバとエホバの組織を信頼し続ける必要があります。悪魔サタンは、いろいろな手を使ってこの信頼を壊そうとしてきます。この記事では、サタンが利用する3つの状況を取り上げ、サタンの攻撃に負けないためにどんなことができるかを考えます。

△ 一部の名前は変えています。

△ (詩 31:14) エホバ、あなたに頼ります。私は言います。「あなたは私の神です」。

△ (ヤコ 4:8) 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください。